

令和8年

1月-3月

No.89

Manufacturing industry



Business trend

ちばしんきん

Wholesale Trade

# 景況レポート

## NEWS report

Retail Trade



Real Estate



Services

Construction



### INDEX

- 企業Interview 有限会社菱信商事 ..... P2
- 地域景気Report 全業種 ..... P3 小売業 ..... P4 不動産業 ..... P5
- 製造業 ..... P4 サービス業 ..... P5 特別調査 ..... P6
- 卸売業 ..... P4 建設業 ..... P5
- 千葉信用金庫からのお知らせ ..... P7



千葉信用金庫



## ＝ 有限会社菱信商事 ＝

### 地域に根付いて37年! 心触れ合う不動産会社

有限会社菱信商事は、千葉市稲毛区山王町を拠点に、不動産の売買・仲介・賃貸・管理を一貫して手がける地域密着型の不動産会社である。昭和62年創業、平成2年に山王町に根を下ろし、千葉市・四街道市を中心に約37年にわたり営業を続けてきた。

同社が大切にしているのは「不動産は人生を左右する仕事」という考えだ。取引の大小にかかわらず、一件一件に向き合う姿勢が、口コミや紹介による顧客の広がりにつながっている。相続や住み替え、資産整理など多様な相談に対応し、市場動向を踏まえた適正価格の提案で円滑な取引を実現。直接買取にも対応し、査定から契約までサポートする体制を整えている。迅速かつ的確な対応を徹底し、顧客の状況に寄り添い心が触れ合う接客で信頼関係を築いてきた同社。地元の不動産事情に精通したパートナーとして地域住民に親しまれている。



### 明るい雰囲気づくりでお客様が相談しやすい空間に

「来店時の第一印象は極めて重要」という代表取締役社長・篠崎正二氏の考えのもと、店舗全体の和やかな雰囲気づくりに注力している。最初の数分で感じる印象が「また来たい」という気持ちを左右するため、過度な演出は行わず、自然体で話しかけやすい空気を大切にしている。重苦しさを感じさせない接客が、安心して相談できる環境を生み出している。

不動産の相談は不安や迷いを伴うことも多い。だからこそ、気軽に言葉を交わせる空気が重要となる。また、相続や離婚など感情や法律が絡む難しい相談にも対応できるよう、相続支援コンサルタントが在籍。一人ひとりの状況に寄り添い、納得のいく解決へと導く。こうした姿勢が、再訪や紹介といった信頼の広がりにつながっている。



代表取締役社長 篠崎正二氏

### 地域行事へ好んで参加、顔の見える関係性を構築

地域密着型の不動産経営において最も重要なことは、「約束を守ること」である。決して特別なことではないが、その一つひとつを着実に積み重ねていく姿勢こそが、長い年月の中で揺るぎない信頼の基盤となる。

同社には、不動産に関する相談にとどまらず、日々の暮らしや将来設計に関わる幅広い相談が寄せられている。それらに真摯に向き合い続けることで、「何かあれば一番に相談したい存在」として地域に深く根付いてきた。また、地域行事への参加や日常的な対話を通じて“顔の見える関係性”を築き、安心して頼れる距離感を大切にしている。

このような地道な積み重ねが、継続的な信頼と紹介につながり、地域のなかで選ばれ続ける理由となっている。

#### 菱信商事 沿革

- 昭和62年 有限会社菱信商事を千葉県八千代市にて創立
- 平成 2年 千葉市稲毛区山王町340-3に本社移転
- 平成11年 千葉市稲毛区山王町370に本社移転
- 平成30年 千葉市稲毛区山王町374-2に本社移転

企業  
DATA

RYOSHIN

有限会社菱信商事  
住所: 千葉県千葉市稲毛区山王町374-2  
TEL: 043-421-5711  
設立: 昭和62年(1987年)  
URL: <https://ryoshin.info>  
<https://www.ryoshin.jp>

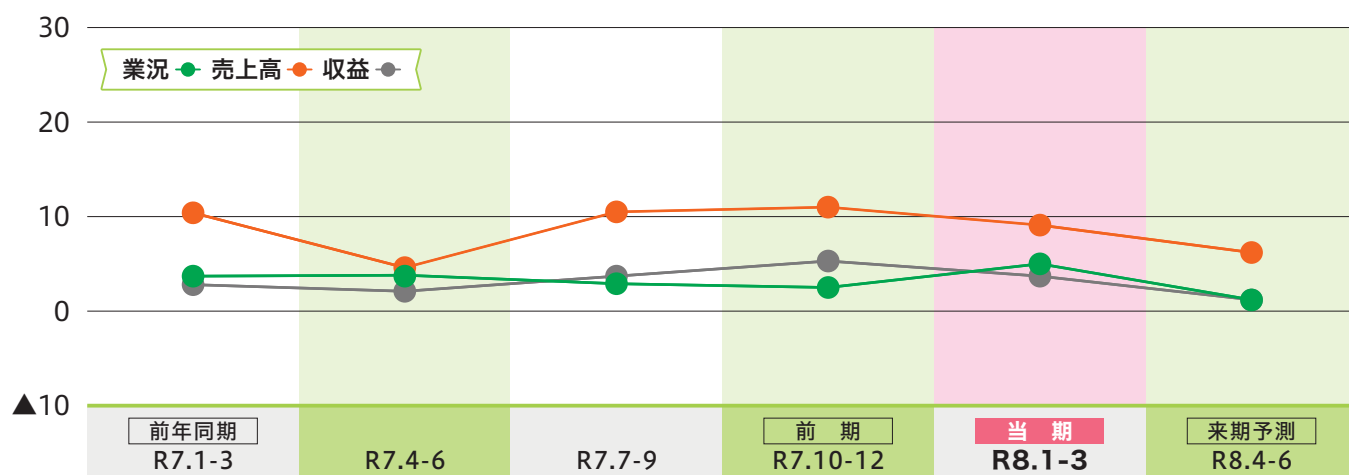
# 全業種



## 回復期であるが不透明な業況が続く見込み

- 全業種の業況DIにおいては、前期より2.5上昇しプラス水準を維持している。
- 業種別の当期DIは、卸売業▲10.2、小売業▲7.6がマイナスで推移するも、製造業2.7、サービス業4.6、建設業19.2、不動産業17.5とプラス水準で推移している。
- 来期予測については業種により差はあるが、製造業及び小売業を除き、プラス水準が見込まれる。

調査日	前年同期 R7.1-3	R7.4-6	R7.7-9	前期 R7.10-12	当期 R8.1-3	来期予測 R8.4-6
業況	3.7	3.8	2.9	2.5	<b>5.0</b>	1.2
売上高	10.4	4.6	10.5	11.0	<b>9.1</b>	6.2
収益	2.8	2.1	3.7	5.3	<b>3.7</b>	1.2
販売価格	32.6	28.0	25.8	25.9	<b>23.4</b>	22.0
仕入価格	53.5	47.9	45.0	46.4	<b>47.7</b>	43.2
在庫	▲ 4.8	▲ 3.1	▲ 5.2	▲ 3.2	▲ <b>2.9</b>	▲ 3.5
資金繰り	▲ 6.1	▲ 3.8	▲ 6.6	▲ 6.1	▲ <b>4.4</b>	▲ 5.6



## 調 査 概 要

本調査は、当金庫お取引先のご協力を得て調査したものです。  
当金庫営業地域の経済動向把握と共に、地域の中小企業の皆様に経営の参考にしていただくためにまとめた。

- 調査対象時期 当期(令和8年1月～3月)、来期(今後3ヶ月:令和8年4月～6月の見通し)
- 調査企業先数 有効回答数482社  
(内訳:製造業73社、卸売業49社、小売業106社、サービス業87社、建設業104社、不動産業63社)

### ■ DIの説明

DIとは、「良い」「増加」「上昇」「過剰」「楽」と答えた企業割合から「悪い」「減少」「下降」「不足」「苦しい」と答えた企業割合を差し引いた数値のこと。

「良い」には『やや良い』を含み、「悪い」には『やや悪い』を含みます。「増加」「減少」等、他の項目も同様。

これら数値がプラスかマイナスか、そしてその大きさの程度によって、景気変化の方向を時系列的な推移の中で分析することを目的としている。

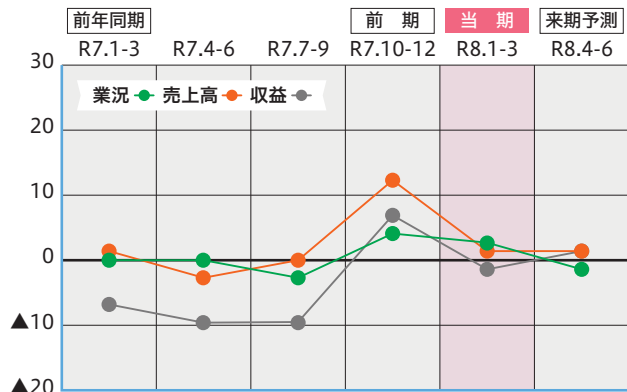
本レポートは標記時点における情報提供を目的としている。また、本レポート掲載内容は当金庫が正確性および完全性を保証するものではない。

Manufacturing industry

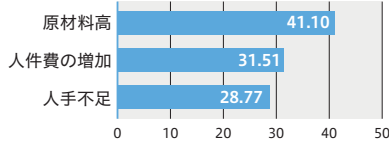
# 製造業



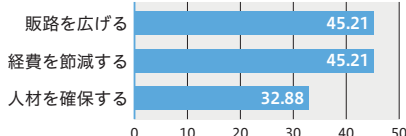
- 製造業の業況DIについては前期より1.4減少するもプラス水準となっている。
- 売上高DIについてはプラスで推移するも10.9減少し1.4での推移。
- 来期は全体的に数値が横ばいに推移すると見込まれる。



### 経営上の問題点 上位3項目(%)



### 当面の重点施策 上位3項目(%)



### 調査員コメント

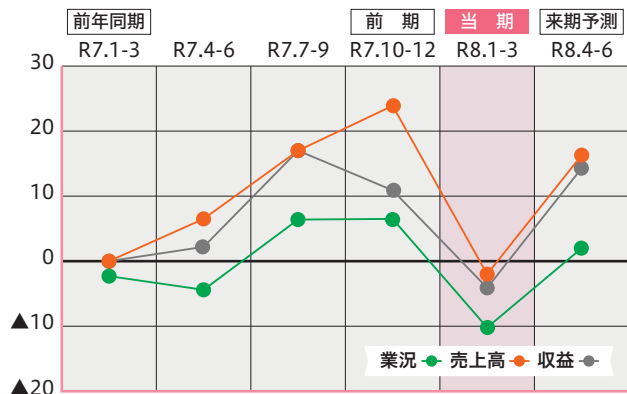
- ・少しでも賃金を上げられるよう経費削減を心がけている。(眼鏡製造)
- ・賃上げ実施を行いたいが、価格転嫁ができていない状況である。(鉄骨資材製造)

Wholesale Trade

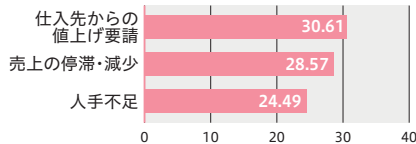
# 卸売業



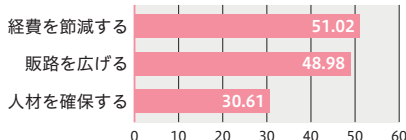
- 卸売業の業況DIは16.7減少しマイナス水準となっている。
- 売上高DIについても前期と反転しマイナス水準で推移している。
- 来期の業況は12.2ポイント上昇しプラス水準予測となっている。



### 経営上の問題点 上位3項目(%)



### 当面の重点施策 上位3項目(%)



### 調査員コメント

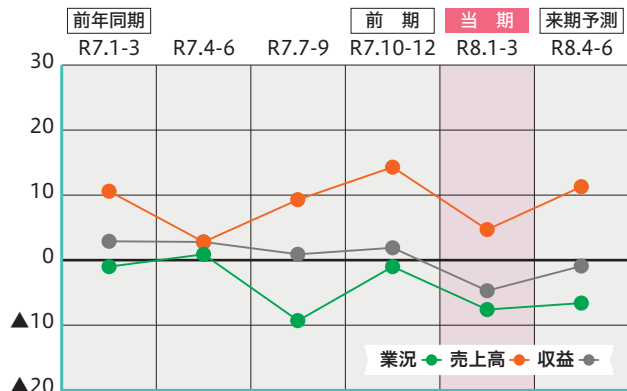
- ・物価高騰に対し、価格転嫁、経費削減により対処を図っている。(酒類卸売)
- ・業況が安定しており、賃金の引き上げを行う見込み。(梱包材卸売)

Retail Trade

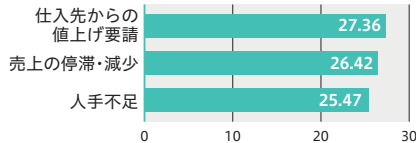
# 小売業



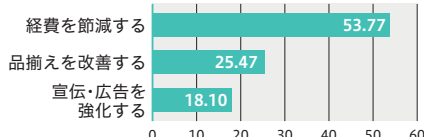
- 小売業の業況DIは6.6ポイント減少し前期同様マイナス水準での推移となっている。
- 売上高DIは前期より9.6ポイント減少するも4.7とプラス水準にて推移している。
- 来期の業況DIは▲6.6となっており、マイナス水準での推移と見込まれる。



### 経営上の問題点 上位3項目(%)



### 当面の重点施策 上位3項目(%)



### 調査員コメント

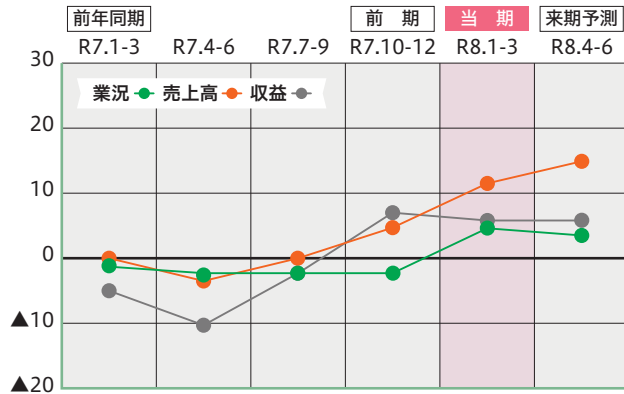
- ・イラン情勢により仕入価格上昇の懸念。付近に大型店舗もあり、同業者間の競争が激化。(燃料販売)
- ・仕入価格上昇に伴い、販売価格へ転嫁するも売上幅変わらず、引き続き販売価格検討。(食品販売)

Services

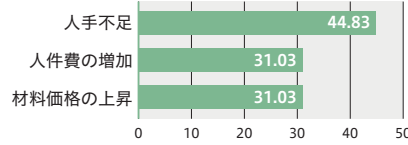
# サービス業



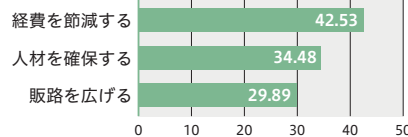
- サービス業の業況DIは6.9上昇し1年超振りのプラス水準となった。
- 売上高DIは前期より6.8ポイント上昇しプラス水準での推移している。
- 来期は全体的な数値が横ばい状況になると見込まれる。



### 経営上の問題点 上位3項目(%)



### 当面の重点施策 上位3項目(%)



### 調査員コメント

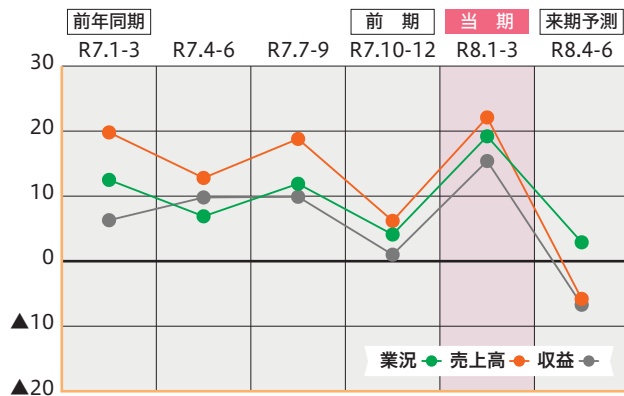
・業況は堅調に推移。人材の高齢化が進んでおり、若手の人材確保、育成が課題。(自動車整備)  
 ・人材の高齢化が進んでおり、若手の人材確保、育成が課題である。(運送)

Construction

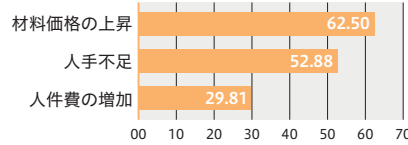
# 建設業



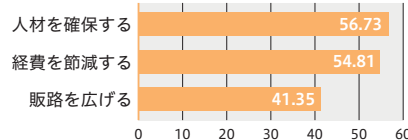
- 建設業の業況DIは15.1上昇し大幅にプラス水準にて推移している。
- 売上高DIについては15.9上昇し、22.1と大幅にプラス水準となった。
- 来期は全体的に減少予想となり、マイナス水準が見込まれる。



### 経営上の問題点 上位3項目(%)



### 当面の重点施策 上位3項目(%)



### 調査員コメント

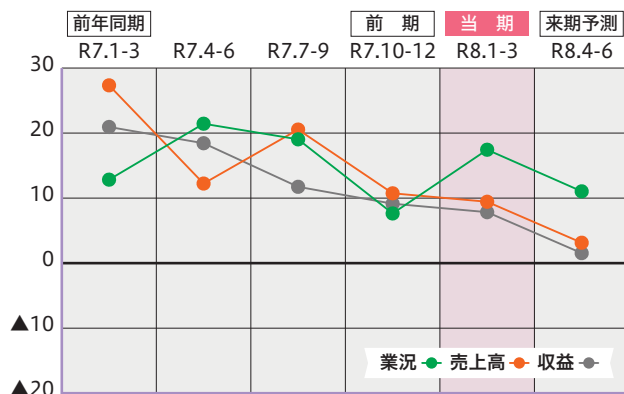
・外国人を採用するも、人材確保が十分とはいえない。(管工事業)  
 ・収益ベースの受注に切り替えている。官公庁の他に大企業からの受注を増やしていく。(土木工事)

Real Estate

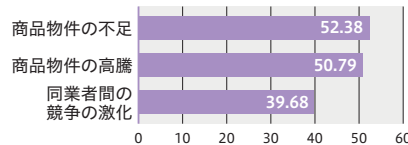
# 不動産業



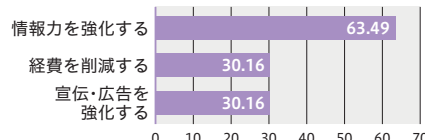
- 不動産業の業況DIは9.8上昇し17.5とプラス水準を維持している。
- 売上高DIについては1.3減少するも、9.5とプラス水準を維持している。
- 来期は全体的に数値減少傾向ではあるが、プラス水準にて推移すると見込まれている。



### 経営上の問題点 上位3項目(%)



### 当面の重点施策 上位3項目(%)



### 調査員コメント

・商品物件価格が高止まりしている印象で積極的に仕入ができていない状況。(不動産管理業)  
 ・従業員の新規確保により業況好調。教育強化により、さらなる事業の拡大が見込める。(不動産売買)

# 特別調査集計表

令和8年  
3月

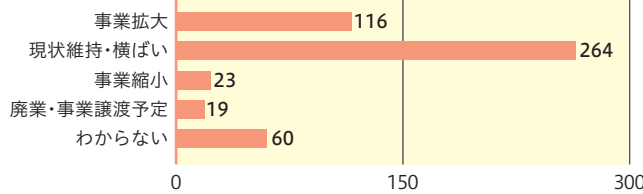


## 中小企業経営者のライフデザイン

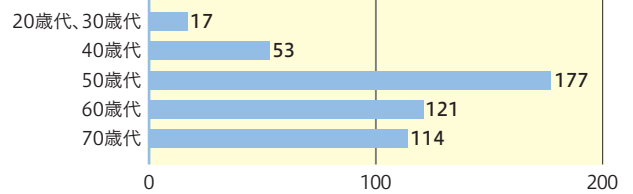
1

社長(代表者)は、今後の10年先の自社の経営について、どのように展望していらっしゃいますか。

10年先の自社の経営展望

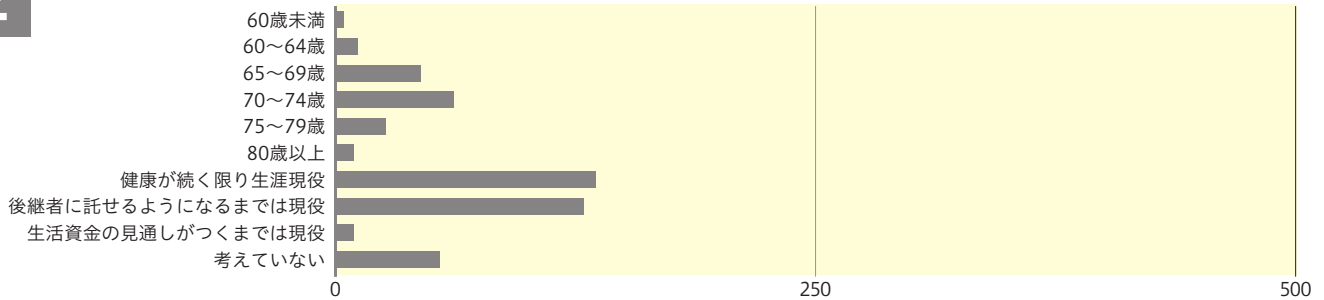


社長年齢階層



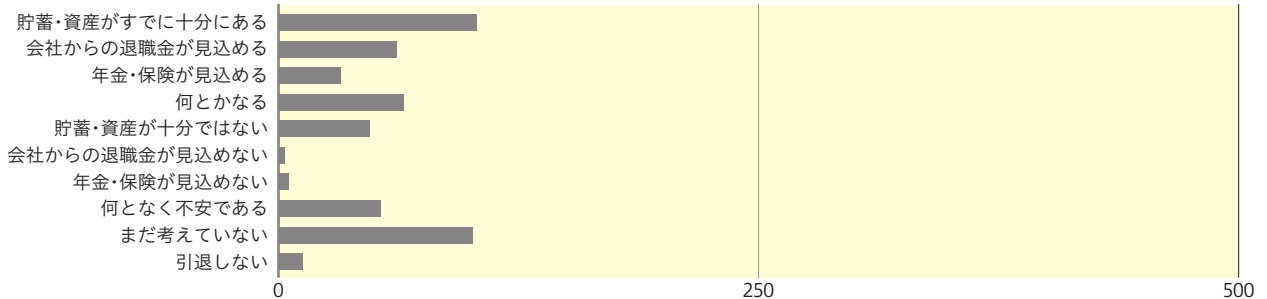
2

社長は経営者としていつ頃まで現役を続けたいとお考えですか。



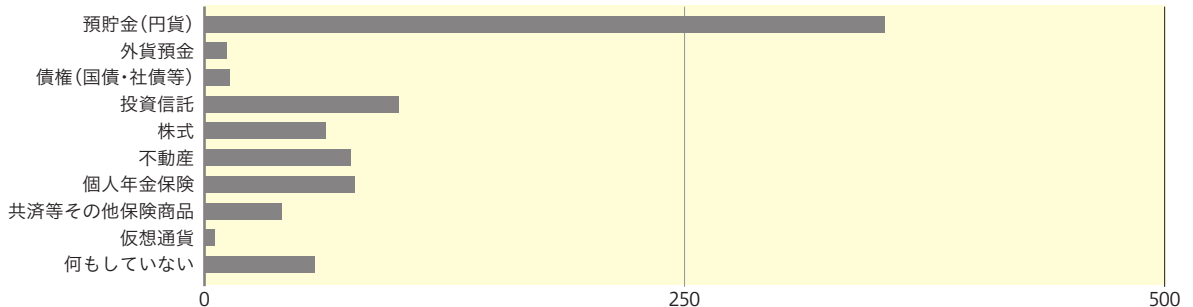
3

社長は、経営者を引退した後の生活資金についてどのようにお考えですか。



4

社長は、個人としてどのような資産管理・運用をいらっしゃいますか。(3つ以内の回答)



5

人材定着に向けて、2026年中に賃金の引上げを実施しますか。引上げる場合はその賃金引上げ率についてお答えください。また、引上げない場合はその理由についてお答えください。



## 第3回いちはら食の彩りマルシェを開催

令和8年3月14日(土)、小湊鐵道五井駅こみなと待合室にて、「第3回いちはら食の彩りマルシェ」を開催いたしました。地域産品の魅力発信、地域活性化を目的に行われ、出店者が自社商品の「こだわり」や「想い」を伝える機会となりました。

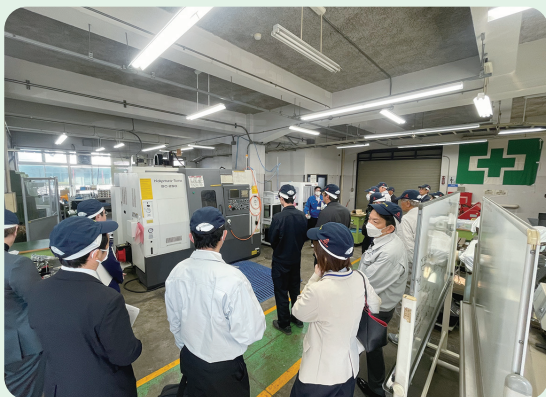
また、会場内ではお子様向けのスペース、抽選会、房総昔話かみしばい会、小湊鐵道SL車両撮影会など、多彩な企画を開催し、ファミリー層や鉄道ファンの方をはじめ、幅広い皆様にご来場いただき、大変盛況のうちに終了しました。




## しんきん合同求人企業説明会開催

令和8年3月17日(火)千葉職業能力開発促進センター(ポリテクセンター千葉)にてしんきん合同求人企業説明会を開催いたしました。

当日は千葉県内5信用金庫取引先中小企業10社の採用担当者様に、ポリテクセンター千葉内の施設見学会を行ったのち、企業側採用担当者よりポリテクセンター千葉の訓練生に対して企業の業務や職場環境を直接伝える機会となりました。





## 第89回 ちばしんきん景況レポート

千葉信用金庫、ちばしんきん景況レポートへみなさまのご意見ご要望をお寄せください。

お問い合わせ | 千葉信用金庫 企業サポート部  
TEL:043-221-3111